



神奈川県内における振り込め詐欺発生状況等について



平成29年12月版
神奈川県警察本部
生活安全総務課

1 振り込め詐欺認知状況

	平成29年11月末		前年同期比	
	件数	被害総額	件数	被害総額
振り込め詐欺	1,991	約46億2,300万円	+886	+約8億9,800万円
オレオレ詐欺	1,346	約30億4,700万円	+617	+約8億2,400万円
警察官等をかたるキャッシュカード手交	587	約7億6,000万円	+534	+約6億5,200万円
架空請求詐欺	205	約9億8,600万円	+55	-約1億9,900万円
融資保証金詐欺	8	約1,500万円	-5	-約4,500万円
還付金等詐欺	432	約5億7,400万円	+219	+約3億1,800万円

※ 被害額はキャッシュカード手交によるATMにおける払出（窃取）額を加えた実質的な被害額

2 情報掲示板

被害防止好事例

【事例1】

某市内の女性宅にデパート従業員を装う犯人から、女性名義のクレジットカードを使って買い物をしている人がいるなどと電話がありました。同様の前兆電話を認知した管轄警察署は、某市役所に注意喚起の防災行政無線放送を依頼し、市役所が市内全域に防災行政無線を流した結果、電話の内容を信じていた女性を詐欺の電話であると気付かせました。

【事例2】

息子を装う犯人からお金が必要だと言われ信じた女性は、犯人に指示され、県外から新幹線で神奈川県内まで来ました。その後、待ち合わせ場所を変更されたため、タクシーに乗って移動しようとしたところ、車内で色々な場所に行かされたという話になり、話を聞いた運転手が不審に思い、事情を聞いた後、交番につれて行くなどして、被害を防ぎました。

【事例3】

息子を装う犯人からお金を用意して欲しいと頼まれた女性は、犯人に指示されて電車で某駅まで来て、駅構内で息子を装う犯人に連絡していました。その様子を見た駅員が声を掛けたところ、女性が「孫と待ち合わせをしている。お金を渡さなければいけない。」などと話したことから、詐欺の被害者ではないかと疑い、直ぐに警察に通報するなどして被害を防ぎました。



これらの阻止事案は、日頃から、関係機関・団体の皆様が、日々、振り込め詐欺の被害から高齢者を守るという意識を常に持っていただき、数多くの被害防止をしていただいた一例になります。

引き続き、あらゆる機会を捉えた県民の皆様に対する注意喚起に御協力をお願いします。

3 神奈川県警察からのお知らせ

県警ホームページを変更しました

現在、キャッシュカード手渡し型の振り込め詐欺が多数発生し、特殊詐欺の被害認知件数は、過去最高となっています。そのため、関係機関・団体の皆様には、様々な機会を通じて広報啓発活動をしていただいているところですが、この度、県警察のホームページをキャッシュカード手渡し型の振り込め詐欺を中心とした振り込め詐欺の注意喚起を多数掲載したものに変更しました。



【県警ホームページ】